

abdominoscrotal hydrocele に対する治療を受けられた患者さんの

検体・情報を研究に利用することについてのお知らせ

小倉医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 内視鏡手術所見から考える Abdominoscrotal hydrocele の発生機序

[当院の研究責任者] 小児外科 生野猛

[研究の背景]

Abdominoscrotal hydrocele (ASH) は陰嚢鼠径部から腹腔内に伸びる水腫であり、小児において稀で特異的な疾患です。ASH の外科的治療には大きく分けて鼠経切開法と腹腔鏡手術があり、当科では小児鼠経ヘルニアに対して有効な治療法として広く行われている LPEC 法を採用しています。ASH の詳細な発生機序は不明です。

[研究の目的]

当科で経験した ASH における臨床的特徴及び手術所見から ASH の発生機序を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

ASH の患者さんで、西暦 2014 年 4 月 1 日から西暦 2023 年 6 月 30 日の間に小児外科で治療を受けた方

●研究期間：西暦 2014 年 4 月 1 日から西暦 2023 年 6 月 30 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：なし(診療または他の研究で使用した余りの検体で保管することに以前同意をいただいたもの)

カルテ情報：

年齢、性別、体重、身体所見、画像検査結果、術前診断、手術所見、合併症、術後経過、術後経過観察期間、再発の有無

●検体や情報の管理

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

検体や情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は第42回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である生野猛が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構小倉医療センター

小児外科 生野猛

〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10番1号

電話 093-921-8881